



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コロナ
 コード番号 5909 URL <http://www.corona.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 力
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員経理部長 (氏名) 及川 良文 (TEL) 0256-32-2111
 兼広報室担当
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	64,604	△8.0	3,713	△37.2	4,039	△35.5	2,567	△32.3
25年3月期第3四半期	70,212	△1.2	5,913	△11.6	6,258	△7.7	3,790	7.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,911百万円(△30.3%) 25年3月期第3四半期 4,176百万円(9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	87.51	—
25年3月期第3四半期	134.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	101,453	71,856	70.8	2,449.49
25年3月期	94,922	69,707	73.4	2,376.07

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 71,854百万円 25年3月期 69,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
26年3月期	—	13.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	△6.3	1,100	△74.1	1,600	△65.9	950	△68.3	32.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	29,342,454株	25年3月期	29,342,454株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	7,880株	25年3月期	7,830株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	29,334,599株	25年3月期3Q	28,234,643株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日発表の予想数値を変更しております。業績予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページ（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策や経済政策への期待感を背景に、生産活動や個人消費が持ち直すなど一部に明るい兆しが見えておりますが、新興国経済の減速や円安による輸入コストの増加など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

住宅関連機器業界においては、住宅ローン減税などの住宅取得支援策を下支えに、消費税増税前の駆け込み需要の影響も見られるなど、新設住宅着工戸数は前年を上回って推移しました。しかし、石油暖房機器市場は、灯油価格の上昇や気温が高めに推移したことに加え、防災商品としての需要が縮小したことにより、前年を下回って推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは今年度よりスタートした「第6次中期経営計画」に基づき、他社に勝る「差別化」や当社独自の「オンリーワン」を追求した魅力ある商品、サービスの提供にこだわり、お客様のニーズに対応した商品の投入と育成に取り組んでまいりました。

暖房機器では、石油ファンヒーターと寒冷地向け石油暖房機に、使いやすくデザイン性も高い新モデルを投入したほか、空調・家電機器では、洗濯物の部屋干しニーズに応じて、衣類乾燥機能を強化した新型除湿機を投入しました。住宅設備機器では、省エネ性能をさらに高めたエコキュートや高効率石油給湯機「エコフィール」の新商品を投入し、給湯分野における高効率商品のラインアップを拡充させ、環境性や経済性を訴求して拡販を図りました。また、ヒートポンプ式温水暖房システムに、エアコンによる冷暖房と除湿が可能な「コロナエコ暖クール」と、暖房専用の「コロナエコ暖システム」8.7kWタイプを投入し、住宅設備機器トータルで快適かつ省エネな暮らしを提供するための提案活動を強化してまいりました。

新規事業分野のアクアエア事業については、独自の「ナチュラルクラスター技術」による美容健康機器の「リフレプロ」を美容業界向けに発売し販路開拓を図るとともに、「ナノリフレ」のCM放映を開始するなど、ナチュラルクラスター技術の認知度向上にも積極的に取り組んでまいりました。また、介護施設等向けの多機能加湿装置「ナノフィール」の営業活動も強化してまいりました。

製造部門においては、進化したものづくりの実現に向けて、「CQM活動（コロナの品質管理活動）」をベースとした、合理化設備の内製や技術の伝承などに積極的に取り組み、生産性と品質の向上に努めてまいりました。また、気候の変動などに伴う需要の変化に、柔軟な生産体制で対応いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は646億4百万円(前年同四半期比8.0%減)となりました。また、利益面については、徹底したコストリダクションと業務の効率化を推進しましたが、営業利益は37億13百万円(前年同四半期比37.2%減)、経常利益は40億39百万円(前年同四半期比35.5%減)、四半期純利益は25億67百万円(前年同四半期比32.3%減)となりました。

なお、製品の種別別売上高の状況は、次のとおりとなりました。

<暖房機器>

暖房機器の売上高は275億70百万円(前年同四半期比16.7%減)となりました。

石油暖房機器については、灯油価格の上昇や気温が高めに推移したことに加え、防災商品としての需要が縮小したことなどから、前年同四半期を下回りました。電気暖房機器については、遠赤外線電気暖房機「コアヒート」の暖房性能の高さが広く認知され、前年同四半期を上回りましたが、暖房機器全体では前年同四半期を下回りました。

<空調・家電機器>

空調・家電機器の売上高は99億41百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

除湿機については、梅雨時期に雨が少なかった影響から、前年を下回って推移しました。一方、ルームエアコンは、消費税増税前の駆け込み需要や、夏場の猛暑による後押しを受け好調に推移し、空調・家電機器全体では前年同四半期を上回りました。

<住宅設備機器>

住宅設備機器の売上高は225億19百万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

ヒートポンプ式温水暖房システム「コロナエコ暖」シリーズが、新商品を発売し提案活動を強化した結果、前年同四半期を上回って推移しました。石油給湯機は、買い替え需要の減少が影響し、石油給湯機全体では前年同四半期を下回りましたが、省エネ性に優れた高効率機種「エコフィール」は好調に推移し、販売台数は前年を上回りました。エコキュートは、電化住宅の伸び悩みの影響を受けて前年同四半期を下回り、住宅設備機器全体では前年同四半期を下回りました。

『当社グループの四半期業績の特性について』

当社グループの取扱商品は、通年商品の住宅設備機器のほか、夏物商品のルームエアコンを中心とした空調・家電機器と冬物商品の暖房機器を取り扱っているため、業績に季節的変動があり、売上高は第3四半期連結会計期間に集中し、第1・第4四半期連結会計期間は少なくなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比べ57億79百万円増加し、644億26百万円となりました。これは現金及び預金が37億83百万円、商品及び製品が21億21百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が111億47百万円増加したことが主な要因であります。

現金及び預金につきましては、主に売上債権の増加に伴う減少によるものであります。商品及び製品につきましては、主に空調・家電機器の在庫減少によるものであります。受取手形及び売掛金につきましては、当社グループの売上高の季節的変動に起因し、第3四半期連結会計期間末が最も増加する傾向にあります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比べ7億52百万円増加し、370億27百万円となりました。これは投資有価証券が17億62百万円増加した一方、建物及び構築物が3億57百万円、有形固定資産のその他が4億6百万円減少したことが主な要因であります。

投資有価証券につきましては、主に国内事業債の購入による増加であります。建物及び構築物、有形固定資産のその他につきましては、主に通常の償却による減少であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比べ39億81百万円増加し、263億54百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が12億52百万円、未払法人税等が15億90百万円、流動負債のその他が12億42百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

支払手形及び買掛金につきましては、暖房機器を中心とした生産量の増加に伴う増加であります。未払法人税等につきましては、当社グループの売上高の季節的変動に起因し、第3四半期連結会計期間末における課税所得が増加する傾向にあるためであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比べ4億1百万円増加し、32億43百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比べ21億48百万円増加し、718億56百万円となりました。株主資本においては、利益剰余金が第3四半期連結累計期間の四半期純利益により25億67百万円増加した一方、配当金の支払いにより7億62百万円減少しております。その他の包括利益累計額においては、前連結会計年度に比べその他有価証券評価差額金が3億49百万円増加しており、少数株主持分においては、4百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成25年5月15日に公表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想を本資料において修正いたしました。なお、当該予想数値に関する事項は、本日(平成26年1月31日)公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,328	15,545
受取手形及び売掛金	21,608	32,756
有価証券	705	800
商品及び製品	13,297	11,175
仕掛品	486	764
原材料及び貯蔵品	436	560
その他	2,880	3,028
貸倒引当金	△96	△204
流動資産合計	58,647	64,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,655	7,298
土地	10,254	10,254
その他(純額)	2,106	1,700
有形固定資産合計	20,017	19,253
無形固定資産		
	1,382	1,037
投資その他の資産		
投資有価証券	11,175	12,938
その他	3,804	3,829
貸倒引当金	△105	△31
投資その他の資産合計	14,874	16,736
固定資産合計	36,274	37,027
資産合計	94,922	101,453
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,349	16,602
未払法人税等	107	1,697
製品保証引当金	445	397
製品点検費用引当金	310	253
その他	6,160	7,403
流動負債合計	22,372	26,354
固定負債		
退職給付引当金	222	212
役員退職慰労引当金	340	431
その他	2,279	2,599
固定負債合計	2,841	3,243
負債合計	25,214	29,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,449	7,449
資本剰余金	6,686	6,686
利益剰余金	55,010	56,815
自己株式	△8	△8
株主資本合計	69,138	70,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△65	283
土地再評価差額金	628	628
その他の包括利益累計額合計	562	911
少数株主持分	6	1
純資産合計	69,707	71,856
負債純資産合計	94,922	101,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	70,212	64,604
売上原価	49,854	46,865
売上総利益	20,357	17,738
販売費及び一般管理費	14,444	14,024
営業利益	5,913	3,713
営業外収益		
受取利息	126	144
受取配当金	76	57
その他	156	135
営業外収益合計	359	338
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	6	5
その他	5	4
営業外費用合計	14	12
経常利益	6,258	4,039
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	74	15
特別利益合計	78	17
特別損失		
固定資産除却損	19	6
投資有価証券評価損	391	2
その他	5	0
特別損失合計	417	9
税金等調整前四半期純利益	5,919	4,047
法人税、住民税及び事業税	2,894	2,115
法人税等調整額	△763	△630
法人税等合計	2,130	1,485
少数株主損益調整前四半期純利益	3,789	2,562
少数株主損失(△)	△1	△4
四半期純利益	3,790	2,567

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,789	2,562
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	387	349
その他の包括利益合計	387	349
四半期包括利益	4,176	2,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,178	2,916
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループの事業は、住宅関連機器の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。